

不登校を生まない取組は



久保留美子



教育長

居場所と絆を感じる学校をつくる

質問 適応指導教室（ふれあい教室）における不登校児童生徒への支援は。

答弁 教育長 ふれあい教室は、不登校児童生徒の集団生活への適応を促し、学校生活への復帰を援助することを目的としている。

不登校の要因は子供によって様々であるため、一人一人の心情に寄り添い、その子供に合った体験活動等を通して自立するための基礎を培っている。また、学校と密に連携し、学校に復帰できるよう個別の働きかけを行っている。

質問 不登校を生まない取組についてはどうか。

答弁 教育長 不登校の未然防止には「居場所づくり」と「絆づくり」が大切であり、良好な人間関係をもとにした温かい学級・学校が教育活動の土台となると考えている。そのため、道徳や特別活動をはじめ、

全ての教育活動で良い人間関係を築けるよう支援するとともに、日々の授業や行事で、子供が主体的に関わり合いをもち、活躍できる場面を意図的に設定している。

また、就学や進学など環境が大きく変わるときに不登校が増加する傾向があるため、園児が小学生と交流する機会や6年生が中学校の授業を参観する機会を設定するなどしている。

コロナ禍で苦しむひとり親世帯等への支援は

質問 ひとり親家庭、子育て世帯への継続した支援は何か。

答弁 町長 国では、コロナ禍による、ひとり親世帯の収入減対策として「ひとり親世帯臨時特別給付金」を創設し、支給した。

町独自の取組としては、「低所得世帯臨時子育て支援金給付事

業」を創設し支給しており、現在、国の3次補正を活用した支援も検討中である。さらに、町独自の施策として「母子・父子家庭児童及び交通遺児修学給付金」があり、義務教育期間中の小・中学生を養育する世帯に対し、毎年支給している。

今後もコロナ禍で奮闘するひとり親家庭、子育て世帯の支援に取り組んでいく。



こんな質問もしています

・玉村町の個人飲食店への支援について

プレミアム付商品券の実施を求む



石内 國雄

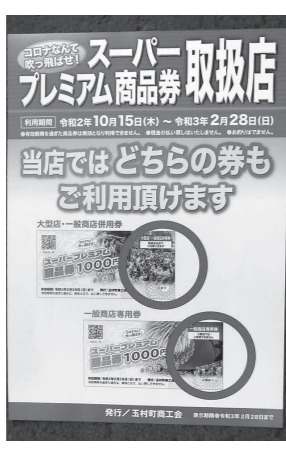


町長

経済状況等を勘案し判断する

質問 コロナ禍における困窮事業者対策・町の商業の起爆剤として、プレミアム付商品券発行事業等の政策を打つべきと考えるが、町の考えはどうか。

答弁 町長 玉村町商工会で実施していただいたプレミアム付商品券発行事業は、一定の経済効果を生んでいるものと考えている。今後、また商品券発行事業を実施するか否かについては、町内の経済状況等を勘案し、判断していきたい。



質問 ワクチンの接種体制について町での取組は万全か。

答弁 町長 まずは75歳以上の高齢者を対象に、クーポン券の発送を考えている。具体

的な接種については、臨機応変に対応していく。伊勢崎市、伊勢崎佐波医師会と協議し、基本的に町内の医療機関での個別接種でスタートし、人員や機器などの体制整備を行っている。

社会体育館の長寿命化改修工事について

質問 災害時の避難所としての利用と、利用者ニーズに対する対策はどう考えているか。

答弁 教育長 社会体育館は、令和元年10月の台風19号の避難所として利用した際も、大雨による雨漏りが至る所で発生した。雨漏りの原因は、老朽化した屋根や樋、外壁であるため、これらを改修することにより防げるようになる。災害時の避難所として利用していくために早急な対応が必要である。また、町民スポーツの活動拠点として、より長く経済的に、また安全に利用していただくため、

長寿命化改修工事により、町民の健康増進及びサービスの向上に努めていく。

現金紛失事件のその後について

質問 現金紛失事件のその後の状況は。町行政への不信感を持ってしまう町民に、不信感を払拭していくのか。

答弁 町長 この紛失事案は役場庁舎内で起き、職員の現金の取扱いにおいて不適切な対応から生じたもので、町の職務に対する信頼を損ねることとなり、改めて町民の皆様へ深くお詫び申し上げます。

現在もまだ現金は見つかっていません。警察で捜査中となっております。綱紀の粛正と再発防止対策の徹底を指示し、現金の保管は各課では行わないこととした。